

令和 4 年 11 月 9 日

西脇市長 片山 象三 様

西脇市まちづくり推進審議会
会長 平田 富士男

西脇市市民提案型まちづくり事業企画書の審査結果について

令和 4 年 10 月 24 日に開催した本審議会のまちづくり活動審査部会において審査したみだしのことについて、下記のとおり取りまとめましたので、西脇市市民提案型まちづくり事業補助金交付規程第 7 条第 2 項に基づき、本審議会の意見として提出します。

記

団体名	事業名	事業費 (補助要望額)	補助決定額 (補助対象額)	補助率 (%)
西脇ジュニア陸上クラブ	西脇ジュニア陸上クラブ活動事業	322,000円 (247,000円)	159,000円 (159,500円)	49.3
親子コミュニティ里	親子交流事業	450,000円 (300,000円)	300,000円 (435,000円)	66.6
合 計		772,000円 (547,000円)	459,000円 (594,500円)	—

※ 各団体の補助金等の詳細については、別紙審査個票のとおり。

市民提案型まちづくり事業審査に係る意見（令和4年度 追加申請）

団体名	意見
親子コミュニティ里	事業の実施に際し、参加者の安全管理について留意するとともに事業を継続的に実施できるよう団体の体制強化も検討すること。

西脇ジュニア陸上クラブ

代表 藤本 佳奈

(会員6名)

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	4.8.1 ~ 5.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 322,000	要望額	¥ 247,000	補助対象額	¥ 159,500
③	事業名	西脇ジュニア陸上クラブ活動事業					
④	事業目的	陸上競技の指導練習や記録会を通して子どもたちの自己実現につなげ、学校、学年、障害の有無などを超えた交流、仲間づくりを行うことで青少年の健全育成につなげる。また、子どもたちが陸上競技に触れるきっかけを作り、未来の活躍に向けて人材育成を行うとともに、地域のスポーツ文化を活性化し、スポーツによるまちづくりの一つとして子どもの陸上競技を定着させ、ひいては地域の活性化につなげる。					
⑤	事業内容	月2回の土曜日の午前中に、都麻の郷交流グラウンドにおいて、陸上競技の指導者を招き、陸上競技の正しい知識、基本技術、スポーツのマナーなどを習得する。また、子どもたちが練習の成果を披露するとともに自分の記録更新に挑戦し、自己実現につなげる場とするため、保護者や地域の方などを招き、記録会を開催する。					
⑥	事業効果	少子化・人口減少が進む中で、市子連などの野球やバレー大会など、これまで行ってきた交流行事は衰退傾向にある。少人数でもでき、西脇市民に馴染みのある陸上競技は子どもたちが参加しやすい。 市内全域の希望する子どもたちが陸上教室を通じて交流する中で、新たなコミュニティが生まれ、交流や仲間づくりを通じて青少年の健全育成につなげることができるほか、地域コミュニティの衰退防止などの効果が期待できる。					
⑦	事業の特色	西脇市には、全国高校駅伝で8回優勝し、田中希実さんなどのオリンピック選手を輩出してきた西脇工業高校がある。そのため、陸上競技に興味を持つ子どもも少なくないと考えられる。しかしながら、西脇市には通年的に陸上競技に親しみ、学ぶような団体は現在活動していない。 そこで「駅伝のまち西脇市」で、陸上競技を学びたい、また親しみたい子どもたちのために通年的な活動を行い、西脇市の子どもたちが西脇市で陸上に親しむ礎となる活動を進めたいと考える。					
⑧	今後の展開	スポーツは、青少年の心身両面の健全な発達に資すると言われているが、SNSの普及や少子化などの影響もあり、現実として子どもの外遊びやスポーツ活動の時間が減少傾向にあると考えられる。そのため、本事業を継続して実施することにより子どもたちがスポーツに触れる機会を増やし、将来にわたってスポーツを楽しみ、またその意義を感じ取ることを通じて心身の健全な成長につなげる。また、指導者や運営者の育成などにもつなげ、陸上競技を通じた新たなコミュニティを作り上げていく。 あわせて、本事業活動を広く発信することを通じ、陸上競技の盛んなまち西脇市を目指し、地域の活性化につなげる活動を進めていきたいと考えている。					

親子コミュニティ里

代表 上野 悦里 (会員5名)

①	事業種類	対象地域	市内全域及び近隣市町	実施期間	4.4.1 ~ 5.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 450,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額 ¥ 435,000
③	事業名	親子交流事業				
④	事業目的	<p>本団体は、夏休み、冬休み、春休みの長期休暇中の未就園児～小学生が参加し、自然と仲間に触れ、様々なメディアやゲームでは体験できない有効的な時間を過ごすことを目的とする。市外からの参加も可能とし、市外参加者には西脇市の自然や施設をPRする。</p> <p>また、小さな子供をもつ親子の参加も可能とし、異年齢での交流、子育てで孤立しがちな状況を回避するため、地域や社会との繋がりをもつことを目的とする。</p>				
⑤	事業内容	<p>夏休み、冬休み、春休み、長期休暇中である未就園児～小学生を対象としたイベントを開催する。自然や仲間に触れ、家庭ではなかなか体験することのできない自然遊びを中心に活動する。場所は、西脇市立青年の家や上野会館などの市営施設を中心とする。また、長期休暇だけでなく、休日を利用した季節ごとのイベントを予定している。</p> <p>春：市内産猪肉を使った猪カレーづくり 夏：青年の家を利用した夏休みの宿題キャンプ 秋：焼き芋大会、西脇産白米をつかった新米でおにぎり作り 冬：クリスマスリース、お正月飾り作り、お餅つき</p>				
⑥	事業効果	<p>コロナ禍で、自宅で様々なメディアやゲームを中心に過ごすことが増えた未就園児～小学生を対象に、異年齢や別の学校の学生と過ごすことで社会性をはぐくむ。メディアで体験できない自然活動を通して、四季を感じ有意義な時間を過ごす。親ではない大人と接する、異年齢の幼児と接することで情緒豊かな人材育成を目指す。西脇の施設を利用することで、市内だけでなく市外の人にも市施設をアピールする機会をつくる。</p>				
⑦	事業の特色	<p>お仕事をされている保護者の子どもも安心して参加できるよう、参加者でお昼ご飯を作る、もしくは市内の独自のお店から購入し、昼食や間食を提供する。昼食付きなので安心して参加できるのが一番のアピールポイントとなっています。昼食を自分たちで作るイベントもあり、自主性を促すことができる。未就園児～小学生までの参加者がいることで、異世代交流にもつながる。市外からの参加者もいることから、西脇市のPRもできる。</p>				
⑧	今後の展開	<p>子どもたちが関わるイベントなので、より安全な活動を行うため、保育士もしくはチャイルドマインダー資格を保有する参加者に加わってもらう。もしくは、会員が資格取得する。</p> <p>資金面で継続的な活動をするため、イベント内容を充実させ、参加費で運営できるよう検討する。</p>				